



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 199

令和3年（2021年）2月3日発行

■ 立春（りっしゅん） 令和3年2月3日から2月17日までの節気

みなさま、この便りがお手元に届くころは、まだ緊急事態宣言発令中だと思います。いかがおすごしでしょうか。私の家の近くに梅の木があるのですが、つぼみが膨らんできました。うっすらとピンク色が透けて見えます。じっと見ていたら、気持ちがはればれとしてきました。「春」が、ここにいる……。小さな小さなつぼみなのに、こんなに気持ちを明るくしてくれるのですね。改めて花の力を実感しました。

二十四節気では、2月3日から2月17日まで「立春」の節気に入ります。立春の前日は「節分」。新しい年、うれしい春がくることを祝い、良い一年になりますようにと邪気を祓います。今年はいつもの何倍も勢いよく豆まきしたい気分ですが、お寺での豆まき行事も中止のところが多いようです。みなさん、家で元気に豆まきをしましょう！

「立春大吉」のお札を貼る方もいらっしゃると思います。禅宗の曹洞宗から行われるようになった厄除招福のための風習です。立春の日にお寺で祈念のための読経をしてから「立春大吉はがき」や「立春大吉のお札」などを寺院や民家に貼ります。それによって、立春からの1年は幸せに過ごすことができると言われています。（NPO PTPL「ともいき暦」より）

「立春大吉」の文字は真ん中で折ると左右対称になっていて、表からも裏からも「立春大吉」と読めます。そこで玄関に貼っておくと鬼が家に入ってきて振り向いた時に、「あれ？まだ入ってない」と勘違いして出て行ってくれるので、「災難に遭わない」と言われています。面白いですね。

立春には伊勢赤福の「立春大吉餅」が有名ですが、「立春大福」という名前で和菓子屋さんにも並ぶお餅もあります。普段から「大福」はよく食べます

が、「立春」がついただけで縁起が良い感じがします。そろそろ和菓子屋さんには、春らしい名前の可愛い和菓子が並び始めます。「黄水仙」「紅梅」「春告鳥」「つくし」…。そして「桜もち」へ。

3月2日(月)は「若狭彦神社のお水送り」です。福井県小浜市の神宮寺の行事で、奈良東大寺の「お水取り」に先立って行われる送水の儀式です。奈良天平の頃、東大寺の修二会(しゅにえ)に全国の神々が招かれましたが、若狭(現在の福井県)の遠敷明神(おにゅうみょうじん)がこれに遅刻、お詫びに仏前に供える香水を若狭から送ると約束したという伝説にちなむ行事です。当時は寺で護摩を焚き、その日を松明に移して、僧侶や修験者、一般参加者が遠敷川の上流、鶉の瀬まで行列します。鶉の瀬に到着すると送水文を読み上げ、竹筒から香水を流します。この日、流された水は鶉の瀬から地中に染み込み、10日間かけて東大寺二月堂の若狭井に届くといわれます。

そして3月12日(木)「東大寺二月堂のお水取り」です。若狭井から汲み取った「霊水」を本尊にお供えします。そして僧が二月堂の回廊で大松明(全長6メートルほどの巨大なもの)を振り回す「おたいまつ」が行われます。火粉をかぶると幸せになれるとされています。感染対策のためにいつも通りに観覧することはできないようです。こういう時こそ、火粉を浴びたいのですが。

今、多くの方が自粛生活を送っていらっしゃると思います。だんだん暖かくなってきますから、ぜひ家の近くを散歩したりして季節の変化を楽しんでください。立春から春分までの七十二候を眺めてみましょう。

(「NPO PTPL より <http://www.plantatree.gr.jp/>)

立春 (2/3-2/17)

第一候：東の風が吹き始め、氷を溶かし始めるころ

第二候：寒さは厳しいが鶯が山里で濃い美しく鳴き始めるころ

第三候：魚が肥えて踊るころ

雨水 (2/18-3/4)

第四候：雨降って土中にいくらか湿り気を含みだすころ。

第五候：霞たなびき始める頃。来る春への期待が膨らむ。

第六候：草木の芽が萌えるころ。

啓蟄：(3/5-3/19)

第七候：土の中に穴を掘って隠れていた虫たちが、土の扉を開き広げて出てくるころ。

第八候：春らしくなって桃の花が咲き始めるころ

第九候：成長した青虫が浮かしてモンシロチョウになるころ。

鳥の声や草木の芽を想像すると嬉しくなってきました。季節はいつものように流れ、自然もいつものように私たちに季節の移ろいを見せてくれます。「春」は必ずきますから。2月27日(土)は満月です。お月さま、見られるといいですね。次は「春分」のお便りをお届けします。

みなさま、お元気にお過ごしください。

すとうあさえ (NPO PTPL 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」日本人の感覚、ジャパネスク。

日本ではコロナウィルスのワクチン摂取は、今年2月末ごろから、医療従事者、そして高齢者と続いて、接種されていきます。今年、秋ごろには接種終了予定ということですが、収束の兆しがはっきりと見えるのはいつごろになるのでしょうか？安全、安心で有効なワクチンであることを信じています。今、時代は大きく転換していこうとしています。コロナウィルス収束時には、脱炭素社会への本格的な取り組みが始まり、自動車の電化、ガソリン車の廃止、燃料電池車への転換、自然再生エネルギー、脱プラスチック時代へと大きく舵がとられるでしょう。脱炭素社会への取り組みは、経済成長、化学技術革新の原動力となります。産業と技術革新の基盤を作らねばなりません。日本が温室効果ガスの削減、地球温暖化防止の世界のリーダー国の一員となることを願ってやみません。

日本 2021 ジャパネスク

「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。
日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

●今年最初の「ともいき便り」をお送りします。

今年も年明けからコロナウイルス緊急事態宣言が発令されました。いつ収まるのでしょうか？そして、東京オリンピック・パラリンピックは開催されるのでしょうか？いくつも気になることがありますね。

立春の時季は寒さが厳しいですが、立春を過ぎると寒さのピークも過ぎ、少しずつですが春の兆しが表れてきます。今の時期、コロナ感染の山場です。

くれぐれも感染対策を怠らずご自愛ください。

●日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2020/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

「日本とは、日本人とは、その心とは何か？」

<http://www.japanesque.tokyo/files/chart5.pdf>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp